

もん じょ かん

文書館ニュース

No.35

山口県文書館



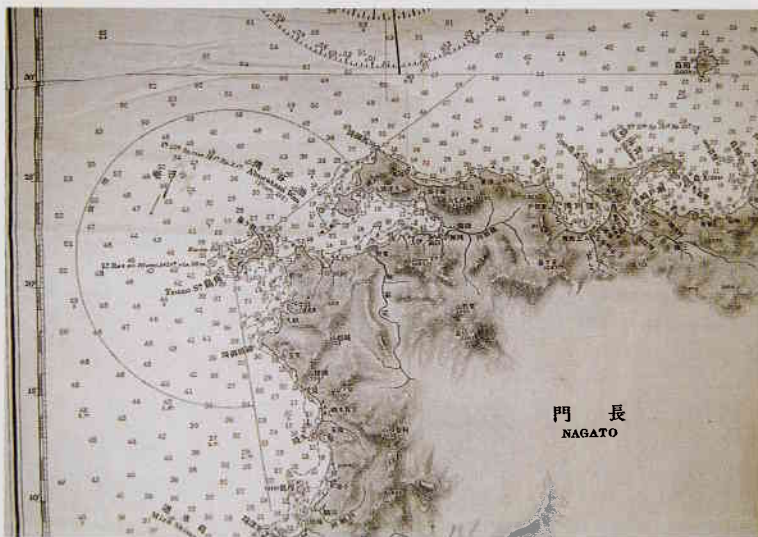
A LIGHTHOUSE AT ROKUREN ISLAND SHIMANOBEKI

台燈島連六外市 (所名閣下)

灯台 (下関市六連島灯台絵葉書: 個人蔵)



第3回文書館ウィーク開催



海図 (内海一名瀬戸内西部(部分)・明治42年作成: 文書館蔵)

も く じ

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 〈表紙〉第3回文書館ウィークのナップ 1 | ○写真メモ・2000年度..... 6 |
| ○文書館ウィークを振り返って 2・3 | ○ワンダー文書館「教科書文庫の充実」..... 7 |
| ○職員の声 4・5 | ○2001年度行事のお知らせ 8 |

第3回 文書館ウィーク

歴史探究講座

「日本の海図

— 開国と海図作成 —

日本国際地図学会会員

今井 健三 先生

特別展示 「明治期の海図」

一般の人にはなじみの薄い海図ですが、海に囲まれた我が国にとっては非常に重要なものです。今井先生から、開国に伴う海図作成の状況や、明治以降海軍が行った測量事業など、興味深いお話を聞くことができました。

特別展示では、海軍水路部作成の山口県関係の海図や、英国海軍作成の日本周辺の海図の展示をしました。



(参加者の声)

歴史関係の海図の講話を聞いたのは初めてです。聞いているうちに、また調べてみる範囲が広がったようです。よい学習ができました。

特別講演・シンポジウム

「文書館の昨日・今日・明日

— 世紀を越えて —

安藤 正人 先生・広田 暢久 先生

利岡 俊昭 先生・北川 健 先生

特別展示 「山口県文書館の四十年」

山口県文書館の開館四十年を契機として三年連続開催の文書館ウィークのしめくくりとして、文書館の過去を振り返り、未来を展望し、文書・記録の保存と活用的重要性を考える講演・シンポジウムを開催しました。

安藤先生からは世界的な視野から見た文書館の役割やこれから進むべき道を、三人のOBの先生方からは現職時の苦労やエピソード、さらには現在の文書館に対する思いなど、さまざまな角度から有意義なお話をしていただきました。九州や大阪・東京からも参加者があり、会場は熱気に包まれました。現職員も、文書館のあり方や活動について貴重な提言をいただき、身が引き締まる思いでした。特別展示では、創設期から現在



(参加者の声)

文書館が民族や民衆の精神の拠りどころとしての性格を持っていることを教えていただき、感動いたしました。

「文書・記録を未来に」

歴史探究講座

「日本の灯台

―開国と灯台設置―

産業考古学会会員 堀 勇良 先生

特別展示 「明治期の灯台」

開国に際し、諸外国が強く要求したのが、灯台設置でした。堀先生には、初期の灯台がブラントンをはじめとする外国人技師の手で外国船航路に沿って設置されていた歴史を、わかりやすく解説していただきました。

特別展示では、ブラントンの最高傑作といわれる角島灯台など、明治期の山口県における灯台設置関連資料の展示をしました。

(参加者の声)

美しいという感覚でしか眺めていませんでしたが、講座を通して灯台の新しい見方が知識を得ることができました。もう一度角島灯台に行ってみたいと思います。



までの館の姿を写真パネルなどで紹介するとともに、『防長風土注進案』をはじめとする刊行物と、その原本等を展示し、山口県文書館の歩みと活動を知っていただきました。

初心者のための

文書館一日講座

文書館ちゃあ何か?という文書館初心者の方々に、閲覧室・書庫の見学や、「古文書との出会い」を体験していただきました。



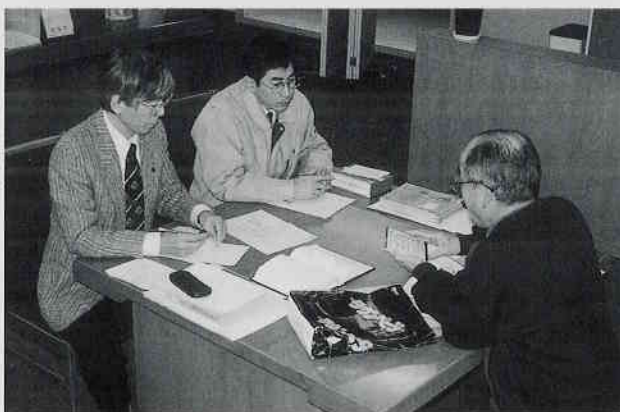
(参加者の声)

山口県文書館とは何なのか。いかにして生まれ活動してきたのか。先輩諸兄のお話は大変参考になり、刺激的で感動的でした。御苦労・志・熱気は、聴いていて涙が流れました。

古文書

なんでも相談

藩政時代の文書・棟札や明治期の教科書の持ち込みなど、さまざまな相談を受けました。



金はないけど……

平成十三年の春で山口県文書館に勤めて二年になります。そこで、この二年間をふりかえっての雑感を少々。

▼山口県文書館は県立のサービス機関です。しかし職員の日々の努力にもかかわらず、一般の県民にはもちろん、親機関の県職員にも、文書館の存在と価値が周知されていないとはいえません。その為か年間予算も微々たるものです。

一方、研究者や同業者からは、毛利家文庫をはじめとするお宝と四〇年以上の伝統を誇る日本最初の文書館として一目置かれた存在です。このギャップは相当なもの

です。
▼たまに他館を訪れるとその設備のすごさに圧倒されます。運動会でもできそうな広い収蔵庫や史料一点ごとにオーダーメイドされた中性紙製の収納袋等々。
そんなコンプレックスにも似た想いから救ってくれたのが同僚から聞いた先輩職員の一言です。
北陸の大学に転出された、関西弁で独特のキャラクターの持主で

ある日さん曰く「うちは金はないけど知恵はあるんや」。

文書館の仕事が見えてくると、限られた予算で先輩職員が知恵をしぼって頑張ってこられたことがよく理解できます。

▼最後は現在の歴史関係の部署におられるYさんに関する話。

彼は転勤で文書館を去るときに、書庫に入って史料に深々と頭を下げられたそうです。Yさんの人柄もあります。山口県文書館の史料について知れば知るほど、この史料はそれだけの重みを持っていることが実感できる今日この頃です。
(和田)



現代の県政を未来に伝えるために

行政資料を文書館へ

県が作成したポスターやチラシは、どこで保存されると思いますか。答えは文書館です。文書館では県が発行した様々なポスターや小冊子等の印刷刊行物(行政資料)を、後世に遺していくため、日々努力しています。これらを遺していくことは、県職員を含めた県民にとって、二つの点で重要です。

より意図しているのです。もしこれらの行政資料が全く残らなかったとしたら、現代の行政の仕事の多くが、正当な歴史の評価を受けるチャンスを失うことになるのです。

(伊藤)

一つは将来、地域の歴史資料として活用するためのです。そしてもう一つは、行政の成果物として未来に伝えるためです。「行政の成果物として未来に伝える」とは、もちろん成果物の保存を通して公費の使途を明確に説明することも意味しています。しかしむしろ文書館では、一時的な説明のためではなく、長い目で見て、現代の県職員の仕事の成果を積極的に保存し、県政の足跡として未来に伝えていくことを、



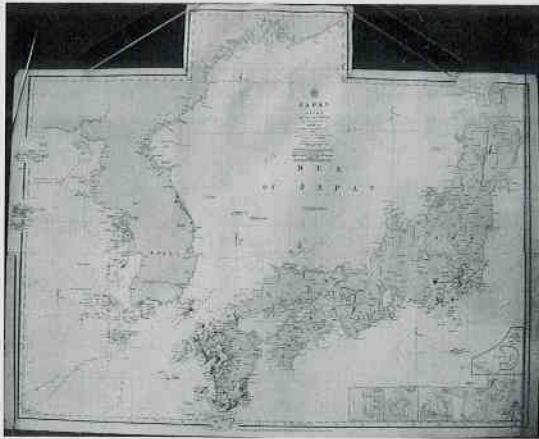
文書館で保存している行政資料の一部

一八六三年、伊能図に基づいた イギリス製日本沿海図

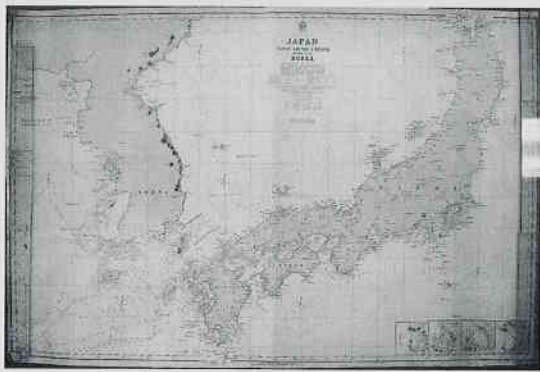
二枚の地図はイギリスで刊行された日本沿岸図で、作成年代は一八五五年(上図)と一八六三年(下図)です。

二枚を比較すると、朝鮮半島の輪郭は同じ形ですが、日本列島は、上図は歪んだ図であるのに対し、下図は正確な図であることが分かります。

イギリスは一八六一年に幕府か



毛利家文庫(絵図29-1)



毛利家文庫(絵図34)

ら伊能図を譲り受けて、再度、日本沿岸の測量を行っています。海図の訂正は頻繁に行われるのが特徴で、この図の場合もわずか二年後には改訂版が刊行されたことが分かります。

(河村)

文書館とは、何ぞや?!

文書館に正式に異動が決まってから、数日のことでした。

たまたま私が不在の時に電話が鳴り、家の者が出ると、「もしもし。こちらはヤマグチケンモンジョカンです。」との声。「瞬?」の後、頭に浮かんだのは、「山口検問所官」。「えらくなまりのある人だなあ」と感じつつ、さてはスピード違反でもして、家に照会の電話をかけられたのかと思ったそうです。……私への疑いは、その数秒後に晴れました。

文書館の知られざるところは、「なぜ、モンジョカンと発音するのか」と、「文書館は何をする所なのか」でしょう。

一般に、現役の種類は「文書(ブシヨ)」といい、ずっと昔のものは「古文書(コモンシヨ)」といいます。「ブシヨ」が現役を終え、年月が経つと「コモンシヨ」になっていきます。

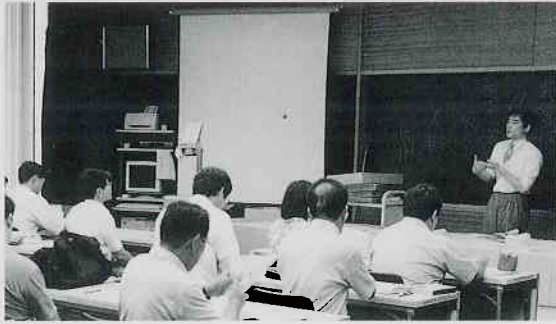
「文書」と書いて「モンジョ」とよむ意味は、そこにあります。

文書館では、すでに「コモンシヨ」となっているものの保存・閲覧提供はもちろん、現在の行政文書や行政資料を、未来に向けて「コモンシヨ」にしていく仕事が大きな比重を占めているからです。(少ない字数では、とても言い表せませんが。)

県民の皆さんに、山口県文書館をより身近に感じていただくためには、まず広報、ということですが、今回「文書館ニュース」をリニューアルしてみました。ほんの一端ですが、文書館の活動をご理解いただけたらと思います。

(南方)





当館主催の古文書講座は8ページに紹介しているとおりですが、今年度も四講座で一五名の方が、熱心に取り組みました。

辞典を片手に、頭をひねり想像力を働かせて解説に挑戦し、充実したひとときを過ごします。初めて古文書に挑戦した人も、修了時には、自信のある顔つきになってきます。

文書館には、毎年多くの学生グループや諸団体が、施設見学に訪れます。

また、テレビや新聞の取材もたびたびあります。

このようなチャンスを活かして、文書館の活動を多くの人たちに知ってもらおうと、PRに努めています。

(写真は、韓国KBSテレビ)



ぶち(とても)楽しいで。

よう、おいでました。

写真メモ・2000年度

デビューします。



昨年度末に、「公儀事諸控総目次Ⅱ」と「行政資料目録一九六〇年代第三分冊」を刊行しました。

「公儀事諸控」は毛利家文庫にあり、幕府と萩藩とで交わされた多岐に渡る文書記録の控えです。

文書館では逐次目録を刊行し、閲覧利用の便の向上を図っています。

こりゃあ、すごい...

伊能忠敬の全国測量開始二〇〇年を記念した「伊能ウオーク」。一〇月一五日の山口会場では、当館所蔵の「御两国測量絵図(伊能大図)」を展示しました。

伊能図は現存例が少なく全国的にも貴重なものです。当日は、晴天にも恵まれ、多くの見学者が、めったに見ることのできない忠敬の測量の跡をたどっていました。



教科書文庫の充実

—新制中学校発足時の教科書も—



次々つくった新制中学校の教科書

▽ふるーい教科書が
出てきました!

今年も四人の方が、文書館に古い教科書を持ち込まれました。いずれも御高齢の方で、戦前・戦中・戦後のものでした。少年・少女時代に使用しておられた教科書等で、懐かしい思い出とともに、寄贈を申し出られたようです。このような寄贈が度々あることから、教科書文庫を特設した経緯があります。

▽真っ黒に墨が
塗られています!

整理していると、「何ですか?」と、最初に覗き込むのは文書館職員で、ニコニコした表情です。「あっ!」という声は、墨塗りの教科書を見つけたときです。何ページも削除した教科書もあります。戦前・戦中の軍国主義的な部分を塗りつぶして、戦後の教育を再出発しなければならなかった痕跡です。

ワンダー文書館

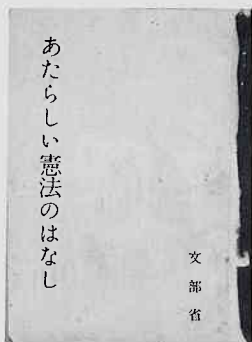
「知られていない」文書館、「不思議な」文書館、という声にお答えしての欄がこのコーナーです。「ワンダフル」文書館になっていきたいものです。

▽粗末な表紙が
ついています!

「変な教科書?」とは、若い女性職員の質問です。「これが暫定教科書ですよ。」「新聞紙のようなものを、自分で折り畳んで、切り揃えて、表紙をつけて使ったんです。」と、得意げに説明すると、「さすがー!」と感心されて、オジン度が決定的になってしまいました。新編教科書を早く教室に届けるために、できあがった部分から印刷して、次々配布したそうです。

▽文部省がつくった
教科書ですか!

『あたらしい憲法のはなし』は昭和二三年二月の発行で、『くいのあゆみ』は二四年一月の発行です。『私たちの



文部省が著作した教科書

▽教科書文庫の整理
方法を改善しました。

昔の思い出が詰まった教科書は捨てがたいものです。これからも、教科書文庫への寄贈が続くことでしょう。その充実を想定して、教科書文庫の整理方法を、発行年次ごとにまとめる方式に変えました。追加を容易にすることと、何年頃の教科書を、という利用者への対応をやさしくすることがポイントでした。一度、使ってみてください。

(戸島)

山口県文書館からのお知らせ

二〇〇一年度の行事

三年間にわたって開催された文書館ウィークは、今回をもって一旦終了します。数多くのご来場、また、ご声援をいただき、ありがとうございました。皆様のご要望により、今年度はウィークの縮小版「文書館デイズ」を計画しています。

また、文書館では、そのほかにも以下のような行事を行っています。古文書に興味のある方は、ぜひご参加ください。

(入門および専修講座の申込受付はすでに終了しています。)

古文書基礎講座〈楠町〉

- ・期 日／ 6月5日～7月3日の毎週
- ・会 場／ 火曜日 (計5回)
- ・会 場／ 楠町中央公民館
- ・対 象／ 楠町および周辺市町村に在住の方
- ・申 込 締 切 り／ 平成13年5月29日
- ・問 合 せ 先／ 楠町教育委員会生涯学習課
- ・山 口 県 文 書 館 基 礎 講 座 係

古文書活用講座

- ・期 日／ 8月20・22・23・24日 (計4日)
 - ・会 場／ 山口県文書館
 - ・対 象／ 県内小・中・高教員
- ※募集要項は、7月上旬にお知らせします。



古文書入門講座・ 古文書専修講座

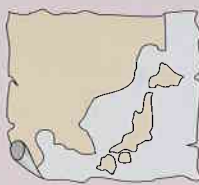
- ・期 日／ 4月～3月
 - ・入 門 は 毎 月 第 2 土 曜 日、専修は毎月第4土曜日。各、計12回
 - ・会 場／ 山口県文書館
 - ・対 象／ 入門：古文書解読の初心者の方
 - ・専 修：より進んだ読解力の修得をめざす方
- ※来年度の募集要項は、12月にお知らせします。

月間小展示

(文書館閲覧室小展示コーナー)

月替わりでテーマを設け、館蔵の文書・記録を紹介しています。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

- 4月「江戸時代の世界地図」
- 5月「毛利斉房の参勤交代(寛政十一年)」
- 6月「大内氏当主の発給文書(4「義隆・義長」)



●開館時間

9時～17時 (月曜日～土曜日)

●休館日

- ・日曜日、祝日、月末整理日
- ・年末年始 (12月28日～1月4日)
- ・春秋文書整理期間 (4月17日～23日、10月16日～22日)

